

## 細久保レポート 2



写真1 (左) 写真2 (右) 推定遺跡地遠望 (細久保地籍・旧国道より)

\* 写真1 の位置は、写真2 の推定遺跡地の中央辺りと思われる。

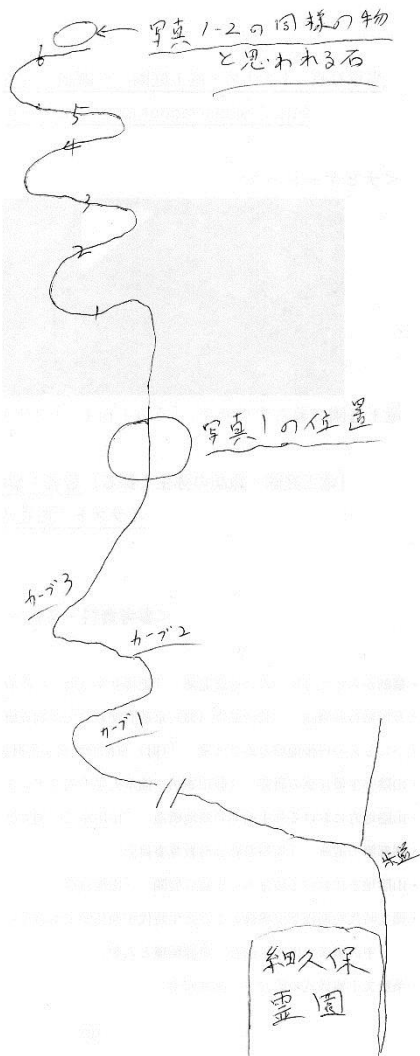


図1 おおよその地図

\* 細久保霊園から写真1 の位置まで、徒歩5分ほどと思われる。



写真1-1 落ち葉を除けて撮影 (撮影後元に戻した)

実測：上石・最大幅 118 c m 厚さ 3.5 c m

それ以上は図れず。



写真 1-2 手前にも石が並ぶ。

1-2 実測：最大幅 92 c m 厚さ 16 c m

地上部高さ 43 c m

1-1 からの距離 440 c m

その他実測：

写真 1-1 から 1-3 までの距離 440 c m

1-1 から 1-4 までの距離 600 c m (メジャーが足りず。おおよそ)

・一見して積石古墳と分かるもの

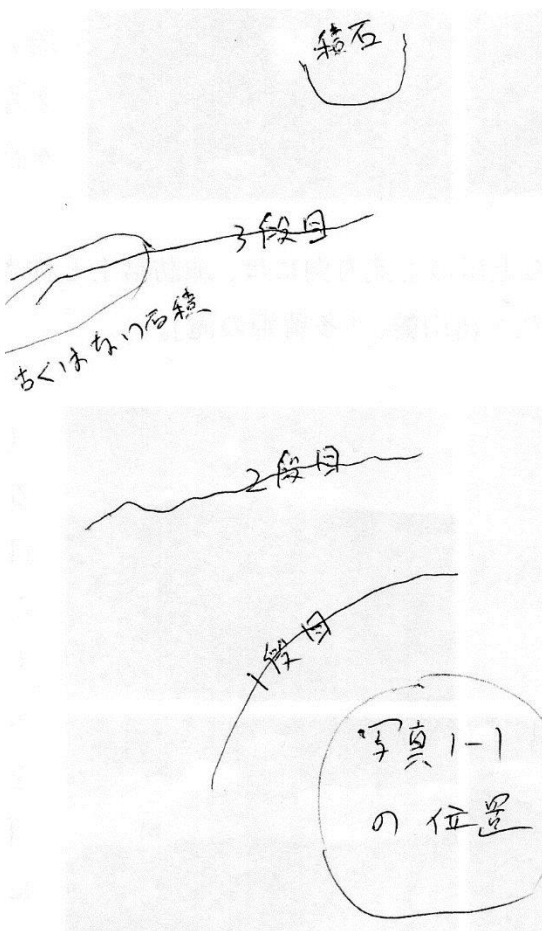


図 2 おおよその位置図(段とは段々畑跡と思われる段差)



写真 3 図 2、三段目にある石積

\*一見して積石墳と分かるもの。形状は、方形、もしくは隅丸方形。実測可能な部分は一辺 4m。

図 2 で「古くはない石積」と記した位置からの距離は、約 10m



写真 4

写真 3 から見下ろした 1-2



写真4 (左) 写真3側の石。目印か？ 写真5 (右) 写真3より少し上部にある石積。

・その他

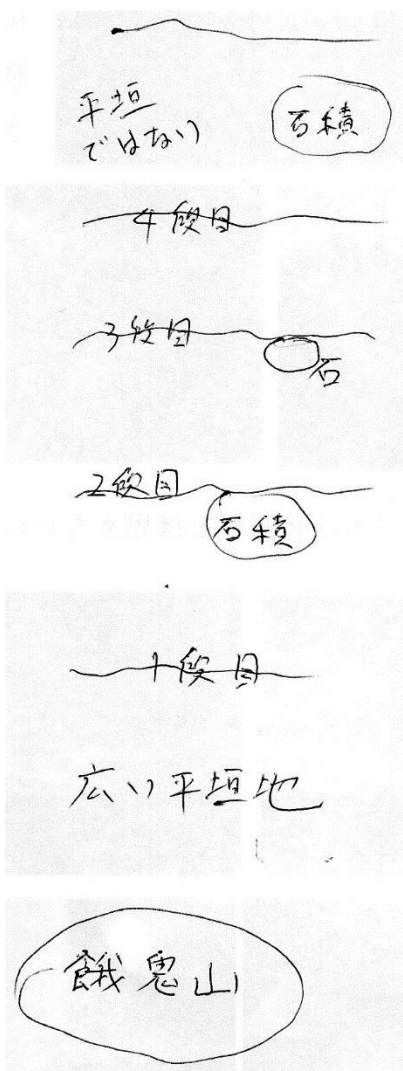


図3 おおよその位置図

餓鬼山から、写真2の平坦地の下り、推定遺跡地に入る。



写真6 (左) 1段目の石積 (奥の石は目印か？)

写真7 (右) 2段目の石



写真8 4段目の石積



写真9 餓鬼山西斜面の石積（？）

ここも段々が見られ、祠がいくつかある。

\* 餓鬼山からこの推定遺跡地にかけて、相当数の古墳群の可能性を感じます。餓鬼山の狼煙台の土塁に使われている石も、あるいは古墳の貼石（又は積石）を再利用したものではないかとも思えます。この周辺は、バイパス予定地に含まれると思います。バイパス工事の前までに、実態を明らかにできればと願います。

2018年4月4日

紫竜